



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 コムシード株式会社  
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚原 謙次

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫

TEL 03-5289-3111

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	564	19.2	2		3		30	
2019年3月期第2四半期	698	10.9	17	179.4	16	462.6	13	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.28	
2019年3月期第2四半期	2.27	2.26

(注)2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	968	696	71.8
2019年3月期	1,062	727	68.3

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 695百万円 2019年3月期 726百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	2.9	40	2.2	38	1.2	10	51.0	1.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,737,264 株	2019年3月期	5,737,264 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	74 株	2019年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,737,195 株	2019年3月期2Q	5,737,264 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
3. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、後退局面入りの兆しがありつつも、駆け込み需要等で一時的に改善が見られております。一方で、消費税率引き上げによる消費の落ち込みが懸念材料としてあり、引き続き不透明感が続いております。

このような中、当社の事業領域であるモバイルゲーム市場は、2018年度で約7兆円規模と、eスポーツ人気等の後押しもあり拡大を続けております(『ファミ通モバイルゲーム白書2019』)。

当社では、当第2四半期累計期間においても、モバイルゲームアプリ関連事業における既存サービスの拡充および新規サービスの開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の事業の概況としては、主力サービス「グリパチ」における成長停滞が響き、全体として売上高が前年を下回る結果となっております。一方、利益面では売上原価および販管費を抑制しましたが、下期計画で先行する費用をカバーできず営業損失を計上いたしました。また、ソフトウェアの一部についての減損処理と投資債権等の一部についての引当処理を実施し、特別損失を計上いたしました。

以上の結果、売上高は564,517千円(前年同期比19.2%減)、営業損失2,158千円(前年同期は営業利益17,167千円)、経常損失3,687千円(前年同期は経常利益16,456千円)、四半期純損失30,288千円(前年同期は四半期純利益13,052千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」において、月一本ペースで新規アプリを投入し、関連するイベント等を実施いたしました。あわせて、累計470万人の会員数を抱えるメディアとしての価値を活かし、広告による収益化も図っております。  
また、9月には、F2層をメインターゲットにした農場箱庭ゲーム「ファンタジーファーム」をリリースいたしました。
- ② 従量制アプリについては、第3四半期以降に投入する予定のアプリ開発を進行いたしました。
- ③ SNSゲームの運営ノウハウを生かしたBtoB(企業間取引)向け受託開発・運営に関しては、複数のストック型案件を中心に、当社の強みを活かした業務を継続しております。
- ④ その他新規事業については、国内アニメIPに関するスマートフォンゲームのサービス開始に向けた準備を進行しております。また、株式会社WEAREとの共同事業であるアイドルコンテンツに関するアプリは、当事業年度内のサービス開始に向け、引き続き開発を進行いたしました。その他、ゲームパブリッシング事業においては、韓国大手ゲーム開発企業の新規タイトルについてのパブリッシング契約を進行し、国内でのリリースに向け準備を開始しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から93,619千円減少し、968,999千円(前事業年度末比8.8%減)となりました。

これは主に、現金及び預金246,183千円、受取手形及び売掛金31,478千円、有形固定資産1,117千円が減少し、流動資産その他36,723千円、無形固定資産17,025千円、投資その他の資産132,251千円が増加したことによるものです。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から63,247千円減少し、272,067千円(前事業年度末比18.9%減)となりました。

これは主に、買掛金35,403千円、1年内返済予定の長期借入金17,233千円、長期借入金13,524千円が減少したことによるものです。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から30,371千円減少し、696,932千円(前事業年度末比4.2%減)となりました。

これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金30,288千円の減少によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期と比べ264,647千円減少し、385,901千円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は60,062千円（前年同四半期は19,328千円の獲得）となりました。

これは主に、減価償却費10,216千円、減損損失5,573千円、貸倒引当金の増加19,500千円、売上債権の減少30,478千円の資金増加と、税引前四半期純損失28,731千円、仕入債務の減少35,403千円、前払費用の増加9,937千円、長期前払費用の増加22,168千円、その他の増加27,007千円の資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は155,310千円（前年同四半期は34,513千円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出26,310千円、関係会社株式の取得による支出70,200千円、関係会社社債の取得による支出59,800千円の資金減少によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は30,810千円（前年同四半期は32,542千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出30,757千円の資金減少によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に発表した2020年3月期の通期業績予想を修正いたしました。詳細については、本日開示の「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	632,084	385,901
受取手形及び売掛金	225,601	194,123
仕掛品	2,304	2,458
原材料及び貯蔵品	1,340	1,183
その他	21,059	57,782
貸倒引当金	—	△838
流動資産合計	882,389	640,611
固定資産		
有形固定資産	10,227	9,110
無形固定資産	42,568	59,594
投資その他の資産		
その他	127,432	278,346
貸倒引当金	—	△18,661
投資その他の資産合計	127,432	259,684
固定資産合計	180,229	328,388
資産合計	1,062,618	968,999
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	118,192	82,788
1年内返済予定の長期借入金	52,604	35,371
未払法人税等	7,043	5,596
その他	69,259	73,620
流動負債合計	247,099	197,376
固定負債		
長期借入金	59,924	46,400
退職給付引当金	9,094	9,094
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	88,215	74,691
負債合計	335,315	272,067
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	884,926	884,926
資本剰余金	316,035	316,035
利益剰余金	△474,677	△504,965
自己株式	—	△53
株主資本合計	726,283	695,942
新株予約権	1,020	990
純資産合計	727,303	696,932
負債純資産合計	1,062,618	968,999

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	698,259	564,517
売上原価	471,009	349,408
売上総利益	227,249	215,109
販売費及び一般管理費	210,082	217,267
営業利益又は営業損失(△)	17,167	△2,158
営業外収益		
受取利息	17	200
その他	22	6
営業外収益合計	40	207
営業外費用		
支払利息	750	516
支払手数料	—	1,220
営業外費用合計	750	1,736
経常利益又は経常損失(△)	16,456	△3,687
特別利益		
新株予約権戻入益	54	30
特別利益合計	54	30
特別損失		
減損損失	—	5,573
貸倒引当金繰入額	—	19,500
特別損失合計	—	25,073
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	16,510	△28,731
法人税、住民税及び事業税	1,147	1,147
法人税等調整額	2,310	409
法人税等合計	3,458	1,557
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,052	△30,288

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	16,510	△28,731
減価償却費	12,589	10,216
減損損失	—	5,573
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,370	—
新株予約権戻入益	△54	△30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	19,500
受取利息及び受取配当金	△18	△201
支払利息	750	516
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,854	30,478
たな卸資産の増減額 (△は増加)	295	△189
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,615	△35,403
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,229	△9,937
長期前払費用の増減額 (△は増加)	4,471	△22,168
その他	10,872	△27,007
小計	20,349	△57,384
利息及び配当金の受取額	18	201
利息の支払額	△739	△585
法人税等の支払額	△1,147	△2,292
法人税等の還付額	847	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,328	△60,062
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△7,693	△26,310
投資有価証券の取得による支出	△30,600	—
関係会社株式の取得による支出	—	△70,200
関係会社社債の取得による支出	—	△59,800
その他の収入	3,780	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,513	△155,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△61,460	—
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△21,082	△30,757
自己株式の取得による支出	—	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,542	△30,810
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△47,727	△246,183
現金及び現金同等物の期首残高	698,276	632,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	650,548	385,901

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(重要な設備の新設計画)

当第2四半期累計期間において新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都 千代田区)	全社	ソフトウェア	未定 (注) 2	—	自己資金	2019年 9月	2020年 3月	(注) 3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 投資予定の総額については未確定であるため、未定としております。

3. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため記載しておりません。